

長野県東筑摩郡 筑北村

女性視点による防災力向上強化事業

令和6年度
実施事業

(事業目的)

いつ発生するかわからない大規模災害に備え、女性の視点を反映した防災体制を強化するとともに、防災分野への女性の参画を推進する契機とする。

(事業内容)

- ①消防庁「防災意識向上プロジェクト」語り部による『女性視点による防災力向上強化講演会』
- ②村防災体制に関する『意見交換会』

(事業効果・成果等)

- ①講演会参加者 82名（村内の住民・各団体・各種委員・村職員等）
○参加者からの声
 - ・自助・共助の重要性に加えて、女性の参画・女性視点によるきめ細やかな対応が必要不可欠と理解でき、今後は積極的に取り組みたい。
- ②意見交換会参加者 51名
 - ・大地震発災後をイメージして女性視点による困りごとと対応策について小グループで意見交換を行い、村の避難所環境や備蓄品の問題点、課題を明らかにすることができた。

(事業実施に当たり工夫した点)

- ・参加者が高いモチベーションで意見交換を行うため、講演会と意見交換会を同日開催とした。
- ・意見交換会で出された意見は、担当課で整理を行い、後日、村の男女共同参画担当、保健師、被災地避難所支援活動を経験した職員等と共有し、令和7年度以降の村の取組について打合せをした。

担 当：総務課
連絡先：0263-66-2111
soumu@vill.chikuhoku.lg.jp

令和6年度女性視点による防災力向上強化事業 防 災 講 演 会

いつ発生するかわからない大規模災害に備え、女性の視点を反映した防災体制を強化するとともに、防災分野への女性の参画を推進することを目的に開催します。

日時 令和6年11月25日(月) 午後2時から
場所 筑北村本城農村環境改善センター 多目的ホール

プログラム

第一部 午後2時～午後3時30分 防災講演会

講師 消防庁防災意識向上プロジェクト語り部

平澤 つぎ子 氏

講師の紹介

東日本大震災時、旭市の避難所に於いて、避難所運営の補助及び避難者の食事面、環境衛生面、その他の支援(心のケア)活動を実施。現在も、実際に支援したことを教訓とし、女性目線・福祉目線で防災教室等で前述の活動を継続している。加えて旭市赤十字奉仕団副委員長、日本赤十字社千歳県支部指導講師、旭市社会福祉協議会理事としても活躍中。

第二部 午後3時45分～午後4時45分 意見交換会

村の備蓄品や避難所運営マニュアルを紹介し、女性視点での「気づき、指摘、改善」等について意見交換を行います。

頂いたご意見を踏まえて、備蓄品や指定避難所の強化・充実を図っていきます。

(事業の様子)

